

# 臨床試験資金のクラウドファンディングに挑戦

## 膵がん患者さんに、余命宣告ではなく治療の希望を届けるため

### 【本件のポイント】

- 腹膜に転移した膵がんの、新しい治療法の臨床試験
- 保険収載へ、1,000万円の臨床試験資金調達を目指す
- 6/10（月）14：00～本学において学長が記者会見

学校法人関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・友田幸一、以下「本学」）外科学講座（教授・関本貢嗣）里井壯平 診療教授と、READYFOR 株式会社（東京都文京区 代表取締役・米良はるか、以下「READYFOR 社」）はこの度、腹膜に転移した膵臓がんに対する新しい治療法の臨床試験資金を調達するため、READYFOR 社が展開するクラウドファンディングサービス「Readyfor」を利用して広く寄付を募ります。また、本件について6/10（月）14時から本学枚方学舎医学部棟1Fにおいて記者会見を実施。友田学長と関本教授、里井診療教授、READYFOR 社ソーシャルインパクト事業部小谷菜美マネージャー/リードキュレーターが、今回の取り組みについて詳細を発表いたします。

今回臨床試験費用の寄付を募る腹膜転移膵臓がんに対する新規治療法は、胃がん治療における保険適用薬品「S-1」と「パクリタキセル」を用いるもので、第I/II相試験でも良好な生存期間中央値（MST：16.3ヶ月）、腫瘍縮小率（36%）、切除率（24%）が得られています。しかし、いずれの薬品も膵臓がんの治療薬としては保険が適用されず、多額の費用負担が生じます。そこで今回、臨床試験費用をクラウドファンディングによって調達し、一日も早い保険収載を実現することで、多くの膵臓がん患者さんとそのご家族に治療の希望を届けたいと考えています。

### 会 見 概 要

日 時：	2019年6月10日（月） 14：00～15：30
場 所：	関西医科大学枚方学舎医学部棟 4F 中会議室（大阪府枚方市新町2-5-1）
出席予定者：	関西医科大学 友田幸一学長、同外科学講座 関本貢嗣教授、同 里井壯平診療教授 READYFOR 株式会社ソーシャルインパクト事業部 小谷菜美マネージャー
発表予定：	14：00 開始、出席者紹介 14：02 ご挨拶（友田学長） 14：04 ご挨拶（関本教授） 14：06 臨床試験概要説明（里井診療教授） 14：20 クラウドファンディング概要説明（小谷マネージャー） 14：40 質疑応答

### 【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（岡田）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

リリース先：大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、  
科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ

2019年6月3日

No. 00122

PRESS RELEASE



【臨床試験資金調達クラウドファンディング概要発表記者会見 参加申込書】

学校法人関西医科大学 広報戦略室 行

FAX 番号：072-804-2638

ご出席に際しては必要事項をご記入の上、  
上記 FAX 番号宛に **2019年6月7日（金）17時まで**にご返信ください。

日時：2019年6月10日（月）14時～

場所：関西医科大学校方学舎医学部棟 4階 中会議室

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

貴社名：

御所属：

御芳名：

媒体名：

御連絡先：

電話：

FAX：

Email：

※会場に駐車場のご用意はございません。恐れ入りますが取材車両は近隣の民間駐車場をご利用ください。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（岡田）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

## 別添資料

### <本事業の背景>

膵臓は、胃や他の臓器の後ろの身体の深いところに位置しています。そんな膵臓にできる「膵がん」は早期発見や治療が難しいため、発覚したときには手遅れということが多く、死亡率の高い難治性のがんの代表、サイレントキャンサー/サイレントキラーなどと言われています。特に、がん細胞が脾臓を超えて腹膜（臓器を覆う膜）に転移した「腹膜転移」の状態で見つかり、現状は治療法すら標準的なものがなく、2ヶ月から半年ほどで命を落としてしまうこともある病気です。

里井診療教授は、そんな腹膜転移膵がんの治療に少しでも希望の光を見出したいと「腹膜転移治療研究会」を立ち上げ、北海道から鹿児島まで全国30施設の協力を得て、新たな治療法の開発を推進。その結果、すでに33名の患者さんに治療を行い、腹膜への転移が消失して手術ができるようになった患者さんが8人にのぼるなど、良好な治療成績を示しました。また、その成果をまとめた論文は2016年3月11日（金）付で米国外科学会公式機関誌「Annals of Surgery」に掲載されています。

しかし、この治療法は本来胃がんで保険適用とされている薬剤を使用するため、膵がんへの投与は保険適用外となり、現在は患者さんに多額の費用負担（本学附属病院の場合約82万円＋入院料その他）が発生し、現実的な選択肢とはなっていません。里井診療教授らは一刻も早い保険収載を目指して医師主導治験（臨床試験）を推進しようとしたのですが、資金の調達が思うようにいっていませんでした。

### <本事業の意義>

本事業は関西圏での医療プロジェクトとしては最高目標金額（1,000万円）であり、また大学病院の医師が実行主体（実行者）となって行うクラウドファンディングとしても最高目標金額です。

年間約86万人近い方が、新たにがんと診断され、年間約35万人近くの方が、命を落としています。膵がんと診断された方の5年生存率は、7%前後。なかでも腹膜転移の患者さんが5年生存する確率は非常に低いといわれています。腹膜転移膵がん患者さんに、この先辛い症状で苦しむこと、効果的な治療法がないことを説明するのではなく、患者さんとそのご家族に、症状が楽になって手術で根治的な治療を提供できるかもしれない、という希望を与えることができる治療開発の第一歩となりうる点に、意義を見出しています。

### <クラウドファンディングの概要>

個人や組織がやりたいことをインターネット上に掲載し、不特定多数から資金を集める手法のこと。群衆を意味する「Crowd」と資金調達「Funding」を組み合わせた造語で、ソーシャルファンディングと表記されることもあります。現在は防災やジャーナリズム、社会・政治活動、ベンチャー企業への出資、映画、ソフトウェア開発などの分野で利活用が進んでおり、近年は医療・医学界においても活用例が増えています。

#### 【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（岡田）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

PRESS RELEASE



## <クラウドファンディングの事例>

今回本学と共同でクラウドファンディングを行う READYFOR 社の、過去の医療系プロジェクトをご紹介します。

- ・東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科 勝沼俊雄様 / 寄附総額 16,348,000 円

プロジェクトタイトル：ぜん息の子どもと親の負担を減らしたい。新しい治療法への挑戦

▶URL：<https://readyfor.jp/projects/difto>

- ・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 高田礼人様 / 寄附総額 12,360,000 円

プロジェクトタイトル：致死率最大 90%にもおよぶ「エボラ出血熱」治療薬開発の一步へ

▶URL：<https://readyfor.jp/projects/Ebola>

- ・名古屋大学医学部附属病院 病院長 石黒直樹様 / 寄付総額 36,579,500 円

プロジェクトタイトル：小さな体に寄り添い守る。最前線で闘う小児医療の現場に光を

▶URL：[https://readyfor.jp/projects/nagoya\\_u\\_hospital](https://readyfor.jp/projects/nagoya_u_hospital)

### ■READYFOR 社について

社名：READYFOR 株式会社

所在地：東京都文京区本郷 5-33-10 いちご本郷ビル 3 階（旧：IKB 本郷ビル 3 階）

代表者：米良はるか、樋浦直樹

資本金：634,985,620 円（資本準備金含む）

設立：2014 年 7 月

### 【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（岡田）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：[kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp](mailto:kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp)